

## 第4章 連結株主資本等変動計算書と 連結キャッシュ・フロー計算書

### 1 連結株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

メロン株式会社 自 X2年4月1日 至 X3年3月31日 (単位：円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金			
					別途積立金	繰越利益		
当期首残高	10,000,000	0	0	0	0	100,000	0	10,100,000
当期変動額								
新株の発行	1,000,000	1,000,000						2,000,000
剰余金の配当						△50,000		△50,000
親会社株主当期純利益						300,000		300,000
利益準備金の積立				5,000		△5,000		0
別途積立金の積立					25,000	△25,000		0
減資	△200,000		200,000					0
払い戻し			△200,000					△200,000
当期変動額合計	800,000	1,000,000	0	5,000	25,000	220,000	0	2,050,000
当期末残高	10,800,000	1,000,000	0	5,000	25,000	320,000	0	12,150,000

	その他の包括利益累計額			新株 予約権	非支配株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券	繰延 ヘッジ	その他の包 括利益累計			
当期首残高	0	0	0	0	0	10,100,000
当期変動額						
新株の発行						2,000,000
剰余金の配当						△50,000
親会社株主当期純利益						300,000
利益準備金の積立						0
別途積立金の積立						0
減資						0
払い戻し						△200,000
当期変動額合計	100,000	1,000	101,000	50,000	0	2,201,000
当期末残高	100,000	1,000	101,000	50,000	0	12,301,000

### 自己資本利益率（ROE）

$$= \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{自己資本}} = \frac{300,000}{12,150,000 + 101,000} = 0.02448$$

$$\begin{aligned} \text{自己資本} &= \text{株主資本} + \text{その他の包括利益累計額合計} \\ &= \text{純資産} - \text{新株予約権} - \text{非支配株主持分} \end{aligned}$$

### 配当性向

$$= \frac{\text{剰余金の配当}}{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}} = \frac{50,000}{300,000} = 0.16666$$

### 内部留保率

$$= 1 - \text{配当性向} = 1 - 0.16666 = 0.83333$$

### サステナブル成長率

$$= \text{内部留保率} \times \text{自己資本利益率（ROE）} = 0.8333 \times 0.02448 = 0.02039$$

### 純資産の成長率

$$\begin{aligned} &= \frac{\text{純資産の当期末残高} - \text{純資産の当期首残高}}{\text{純資産の当期首残高}} = \frac{\text{純資産の当期変動額合計}}{\text{純資産の当期首残高}} \\ &= \frac{12,301,000 - 10,100,000}{10,100,000} = \frac{2,201,000}{10,100,000} = 0.21792 \end{aligned}$$

## 株主資本の成長率

$$= \frac{\text{株主資本の当期末残高} - \text{株主資本の当期首残高}}{\text{株主資本の当期首残高}}$$

$$= \frac{\text{株主資本の当期変動額合計}}{\text{株主資本の当期首残高}}$$

$$= \frac{12,150,000 - 10,100,000}{10,100,000} = \frac{2,050,000}{10,100,000} = 0.20297$$

## 自己資本の成長率

$$= \frac{\text{自己資本の当期末残高} - \text{自己資本の当期首残高}}{\text{自己資本の当期首残高}}$$

$$= \frac{12,251,000 - 10,100,000}{10,100,000} = \frac{2,151,000}{10,100,000} = 0.21297$$

## 2 連結キャッシュ・フロー計算書

### (1) キャッシュ・フローと営業活動、投資活動、財務活動

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

#### 営業活動によるキャッシュ・フローの様式（間接法）

#### I 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	(+)	170	
減価償却費・償却費用	(+)	30	
引当金の増加額	(+)	17	
受取利息及び受取配当金	(-)	8	
支払利息	(+)	14	
その他	(+)	64	
(小計)			287)
売上債権の増加額	(-)	11	
棚卸資産の増加額	(-)	10	
仕入債務の増加額	(+)	11	
小計			277
利息及び配当金の受取額	(+)	8	
利息の支払額	(-)	14	
法人税等の支払額	(-)	60	
営業活動によるキャッシュ・フロー		211	

## 営業活動によるキャッシュ・フローの様式（直接法）

## I 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上収入	(+)	989	
仕入支出	(-)	599	
人件費支出	(-)	32	
研究開発費支出	(-)	23	
その他の経費支出	(-)	58	
小計			277
利息及び配当金の受取額	(+)	8	
利息の支払額	(-)	14	
法人税等の支払額	(-)	60	
営業活動によるキャッシュ・フロー		211	

(4) フリー・キャッシュ・フローと「利益の質」

利益対キャッシュ・フロー比率① =

$$\frac{\text{営業活動によるキャッシュ・フローの小計}}{\text{営業利益}}$$

利益対キャッシュ・フロー比率② =

$$\frac{\text{営業活動によるキャッシュ・フロー}}{\text{当期純利益}}$$

利益対キャッシュ・フロー比率③ =

$$\frac{\text{営業活動によるキャッシュ・フロー}}{\text{営業利益}}$$

営業利益に対応するキャッシュ・フロー

↓

営業活動によるキャッシュ・フローの小計＝本来の営業活動によるキャッシュ・フロー  
受取利息配当金の加算・支払利息、法人税等の  
減算をしていないキャッシュ・フロー

当期純利益に対応するキャッシュ・フロー

↓

営業活動によるキャッシュ・フロー＝本来の営業活動によるキャッシュ・フロー  
受取利息配当金の加算・支払利息、法人税等の  
減算をしているキャッシュ・フロー

## 数値例 営業利益の品質

	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5
営業利益	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
営業活動による キャッシュ・フローの小計	15,000	15,000	10,000	6,000	2,000
売上債権の増加額	0	△1,000			5,000
棚卸資産の増加額	0	△1,000			5,000
仕入債務の増加額	0	2,000			2,000
利益対キャッシュ・ フロー比率	150%	150%	100%	60%	20%
利益の質 (利益の資金的裏付け)	きわめて高い	とても高い	高い	低い	著しく低い

## 数値例 純利益の品質

	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5
当期純利益	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
営業活動による キャッシュ・フロー	5,000	5,000	4,000	3,000	1,000
売上債権の増加額	0	△1,000			5,000
棚卸資産の増加額	0	△1,000			5,000
仕入債務の増加額	0	2,000			2,000
利益対キャッシュ・ フロー比率	125%	125%	100%	75%	25%
利益の質 (利益の資金的裏付け)	きわめて高い	とても高い	高い	低い	著しく低い